

協定締結後の取組状況について（報告）

◆ 包括連携協定締結の目的

- ◎ 掛川市、掛川市社会福祉協議会及び静岡福祉大学が包括的な連携のもと、それぞれの資源や機能等の活用を図りながら、幅広い分野で相互に協力し、地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的とする。

この目的を達成するため、次の事項について連携し、協力するものとする。

- （１）知的資源、人的資源及び物的資源の相互活用に関すること。
- （２）地域福祉の向上に関すること。
- （３）子育て支援に関すること。
- （４）教育・人材育成に関すること。
- （５）その他、相互に連携及び協力して実施する事業に関すること。

◆ 協定締結後の取組状況について（令和８年度）

１．行政計画等への参画、委員の就任

取組内容	担当教員等	市・社協	進捗状況	
地域支え合い推進協議会	大久保准教授	掛川市 長寿推進課 掛川市社協	地域における支え合い体制の構築及び地域包括ケアシステムの推進へ、静岡福祉大学の長久保准教授が委員として参画。 令和８年６月５日に長寿推進課、社会福祉協議会との打合せを実施。	新規
高齢者福祉計画等推進委員会	大久保准教授	掛川市 長寿推進課	同上。計画推進に係る委員（副会長）として参画。	新規
地域福祉計画・地域福祉活動計画 福祉アドバイザー	増田学長	掛川市 福祉課 掛川市社協	地域福祉計画・地域福祉活動計画推進に関する助言・提言を行うアドバイザーとして参画。	継続
子ども・子育て会議	永田特任教授	掛川市 こども政策課	子ども・子育て施策に係る委員（会長）として参画。	継続

２．共同研究・地域課題解決に向けた取組

取組内容	担当教員等	市・社協	進捗状況	
ふじのくに地域・大学コンソーシアム ゼミ・研究室 等地域貢献推進事業	檜木教授	掛川市 企画政策課 福祉課	研究課題「外出が難しい方と社会をむすぶプロジェクト」への取組。 檜木教授のゼミにおいて、大学コンソーシアム事業助成金の採択を受け、研究を進める。令和８年６月	新規

			29日に、関係者と打合せを実施。	
幼児向け環境教育プログラムの提案	坂田教授	掛川市 こども保育支援課	令和8年6月11日にこども保育支援課、福祉課との打合せを実施し、保育現場での活用に向けた検討を進める。 7月1日に子ども保育支援課と打ち合わせを実施、試行園の決定について共有した。	新規
保育現場向けリスクアセスメントシートの提案	灰谷准教授	掛川市 こども相談課	令和8年6月19日に、灰谷准教授、こども相談課、福祉課と、保育現場におけるリスク管理手法の導入可能性について協議を行った。	新規

3. 教育・人材育成に関する取組

取組内容	内容	
行政職員による大学でのゲスト講義	令和8年7月9日、静岡福祉大学において、健康福祉部長がゲスト講師として授業を行い、行政実務や地域福祉の現状について学生が学ぶ機会を設ける。	継続
保育人材の育成・確保による協力	静岡福祉大の永田特任教授による、市内高校生を対象とした保育体験事業「保育士に学ぼう」を令和8年7月末に実施予定。教授による保育士に関する講義を実施。	継続
社会福祉協議会での実習協力	静岡福祉大学の学生をソーシャルワーク実習生として受け入れ、実習の実施に協力する。	継続
福祉人材育成・就職支援の連携	掛川市職員採用に向けた就職セミナー等への参加、実習、インターンシップの受け入れ等、福祉人材の育成について相互に協力していく。	新規

4. 今後の連携について

これまでの取組を通じて、以下のような連携の広がりがみられる。

- ・行政計画への大学教員の参画が進み、政策形成への専門的協力
- ・福祉・子育て分野において、大学教員の専門性を活かした事業提案
- ・行政職員の授業協力により、人材育成に関する連携
- ・市、社会福祉協議会、大学の地域課題の解決に向けた協働体制の構築
- ・福祉人材の確保と、大学生の就職支援に向けた連携

三者包括連携協定に基づき、多方面で連携が着実に進んでいる。引き続き、各取組の成果を共有しながら、連携テーマや重点的に推進する事項について、三者で協議を深めていく。

大学の専門的知見や学生の参画により、知識や技術の活用にとどまらず、三者が連携・協働することで新たな価値の創出につなげていく。